

湯前町広報誌[広報ゆのまえ]

yunomae 11

2015.NOV
Vol.413

特集

漫画のまちの “マン”パワー

力作555点が集結
風刺漫画大賞

女子、2位で県大会へ
球磨人吉中体連駅伝

幻想的なキャンドルナイト
観月祭

コンサート会場はお寺
Yaeコンサートin榮立寺

フォトレポート
湯前町民体育祭

【今月の表紙】
湯前小学校運動会親子競技



特集

漫画のまちの “マン”パワー

九州山地に囲まれた私たちのまち、湯前。大自然で育つおいしい作物や温泉、温かな人、湯前にはたくさんの魅力があります。中でも、この時期一番注目されているのが「漫画」です。11月8日に開催される、まち最大のイベント「ゆのまえ漫画フェスタ」を目前に控えた今、まちと漫画について考えてみましょう。

湯前まんが図書館

湯前駅となりの「ふれあい交流センター湯〜とびあ」内にあり、漫画だけを取り扱う図書館。平成25年6月に湯前町観光物産協会が7000冊でオープンし、現在は約8000冊の漫画がある。開館時間は土日祝日の午前9時から午後5時で、入場は無料。小中学生の夏休みや冬休みの時期には毎日開館する。子どもだけでなく、大人も立ち寄り漫画を読み、ゆったりとした時間を過ごしている。



文化としての価値

漫画は書店やコンビニエンスストアなど、さまざまな場所に置かれていて、だれもが一度は目にしたことがあるのではないだろうか。絵と文字で物語を展開させる漫画には個性豊かなキャラクターが登場。実写と違い、自由な設定ができ、さまざまな世界観が描かれています。少年誌だけでなくビジネスマン向けのコミック誌などもあり、内容の幅も広がりました。いまや漫画は子どもだけでなく、大人も楽しめるものになっています。

日本は世界一の漫画の生産国。平成24年には1年間で約4億8千万部のコミック誌を販売しています。人気の漫画は世界各国の言葉に翻訳して輸出されています。

平成12年、文部科学省は漫画を「日本の文化で重要な現代表現」と位置づけました。平成20年に京都精華大学(京都府)は日本初の漫画学科を開設。学問として、各地の大学で本格的な研究が始まっています。

拠点都市熊本

ことし6月時点で3億2千万部を売り上げ、ギネス記録に認定された

「ワンピース」の作者、尾田栄一郎さんや、「巨人の星」の川崎のぼるさん、バスケットブームの火付け役「スラムダンク」の井上雄彦さんなど、熊本にゆかりのある漫画家は96人もいます。「ゆのまえ漫画フェスタ」だけでなく、熊本市ではアニメ・漫画の祭典「くまフェス」が開かれ、NPO法人「熊本漫画ミュージアムプロジェクト」も立ち上がっています。今、熊本は漫画の拠点都市として全国から注目されています。

漫画とまちのにぎわい

人吉球磨出身の緑川ゆきさんが月刊ララで連載している「夏目友人帳」では地元の風景が参考にされています。夏目友人帳は全国的な人気を誇り、平成20年、21年にアニメ化。たくさんファンが物語の舞台となった人吉球磨を訪れ、漫画の情景に触れています。毎年8月に開催される人吉市花火大会のポスターや、くま川鉄道(株)の記念切手には夏目友人帳のイラストが使われています。たくさんの方が親しみをもち、心から楽しんでる漫画。その漫画を使った取り組みを長年続けているのが私たちのまちなのです。

漫画のまちの歩み

「湯前と言えは漫画」。いまやそんなイメージを持つ人もたくさんいます。湯前はどのようなようにして、漫画のまちとして歩み始めたのでしょうか？ このまちにはかつて、政治風刺漫画に生涯を捧げた人がいました。

日本きっての風刺漫画家

大正2年に下染田区で農家の長男として生まれた那須良輔さん。那須さんは小学3・4年生のとき「全国小学生図画作品展」で2年連続2等という成績を収め、「将来は絵描きになりたい」と思いを抱くようになります。

昭和7年には親戚中の反対を押し切って上京し、太平洋美術学校に入学。生活費を稼ぐために染物屋の下絵描きを続けながら漫画を描き、新聞や雑誌に投稿していました。那須さんは昭和8年に雑誌「日本少年実業之日本社」に初めて採用され、漫画家としての道を歩み始めました。昭和18年、3度の召集を受けながらも第2次世界大戦を生き延

びた那須さんは神奈川県鎌倉市に移り、次々と作品を発表。中でも政治を鋭く風刺する作品は日本中の人に知れ渡りま

した。家族や故郷を愛しながら、仕事に命を注いだ那須さんは平成元年2月、鎌倉市の自宅で永眠。平成4年11月にその偉業をたたえ、本町に湯前まんが美術館が建てられました。美術館には那須さんの作品が展示され、書斎も再現されています。

積み上げてきた実績

これまで、美術館では計170回の特別展を開いています。ことし4月から6月には、皆川亮二さんの日本初となる原画展が開かれ、アニメにもなった「スプリガン」や、第44回小学館漫画賞を受賞し

た「ARMS（アームズ）」、「D-LIVE ニ（ドライブ）」などの原画を展示。初日に開かれたサイン会には東京千葉愛知などから熱狂的なファンが駆け付けました。平成24年12月に発行された「月刊モーニング」では、うえやまとちさんの料理漫画「クッキングパパ」で湯前名物の「骨かじり」が登場しました。

湯前の地名を全国に広めてきたのが、ことしで24回目を迎える「那須良輔風刺漫画大賞」です。全国からたくさん応募があり、練り込まれたデザインや風刺の効いたアイデアが毎年まちに集まっています。

こうして湯前は那須さんの意思を受け継ぎながら「漫画のまち」という地位を少しずつ、着実に作り上げてきました。

観光の入り口

湯前は面積48平方キロほどで、目的ごとに施設がまつまっているコンパクトなまちです。国指定重要文化財の城泉寺のすぐそばには、八勝寺阿弥陀堂や宝陀寺観音堂があります。湯前駅の周りには食と漫画の施設、ゆのまえ温泉「湯楽里」の周りには子宝にご利益のある潮神社やキャンプ場、芝生広場があり、家族で楽しむことができます。



風刺漫画家
那須 良輔さん

Profile なすりょうすけ

大正2年、湯前町下染田区生まれ。享年75歳。生涯を政治風刺一筋に生きた漫画家。昭和8年に漫画家デビュー。第2次世界大戦後に神奈川県鎌倉市に移り住み、新聞・週刊誌などで政治漫画を担当。昭和62年に日本漫画家協会選考委員特別賞を受けるなど、さまざまな賞を受賞した。

那須良輔作
麻雀(昭和47年ごろ)



昭和47年、ニクソン大統領(右)訪中と日中共同声明を実現させた中国・周恩来首相(左)のしたたかさ、ソ連のブレジネフ書記長(下)がいら立つ様子が描かれている。上は当時の大平正芳外務大臣。

歴史を語る風刺漫画

風刺漫画は現実の政治や社会に、自分の考えを表した漫画です。少し大きめに、伝えたいところだけを残して、クスッと笑えるユーモアを入れることがポイント。風刺漫画は作品を見た人が共感できるものになっています。「那須良輔風刺漫画大賞」に応募された作品を見ると、その1年間でどんなことが起きたのかを知ることができます。昨年度はネット依存やデング熱、集団的自衛権、STAP細胞などを取り上げた作品が目立ちました。



H26年度 那須良輔大賞
「ウインドーショッピング」



- ①「クッキングパパ」に湯前が登場。テレビなどにも取り上げられた名物「骨かじり」の作り方やおすすめ食べ方などが掲載されている。
- ②現在、「漫画家による私の世界展」を開催中。歴史ある文化財と漫画がそろった湯前ならではの展示。
- ③「きじ馬」をモチーフにした外観で当時、注目を集めた。
- ④美術館に再現された那須さんの書斎。
- ⑤平成4年に建てられた美術館。那須さんの魂がここにある。



田園シンフォニー (くま川鉄道)

人吉～湯前間を走る観光列車。朝夕は住民の通学・通勤に、昼の1便は田園風景を楽しむ観光列車になっている。

湯前駅はくま川鉄道の始発・終点です。くま川鉄道が平成26年3月から運行を開始した観光列車「田園シンフォニー」に乗って、たくさんの方がまちに訪れています。駅から東の道ぞいには歴代風刺漫画大賞作品のミニチュムがあり、その先には、人吉球磨の郷土玩具「きじ馬」をモチーフにしたユニークな外観の美術館があります。観光の目的はさまざまですが、列車を降りて駅舎を出ると不思議な建物に興味をそそられます。湯前にとって漫画は観光客へ期待感を与える観光の入り口にもなっています。

めぐりやすく、暮らしやすいまち

湯前町は施設ごとのまとまりがあり、観光客にとってめぐりやすくなっている。体育施設や学校、福祉施設などもそれぞれまとまっていて、住民にとっても暮らしやすいまちになっている。



漫画を描くことで 役に立つうれしさがありません。

生活の目線を変える

高校時代から出版社に漫画を投稿し続け、卒業するとき連絡をもらって、漫画家としてデビューしました。漫画家はデビューよりも、連載をとることの方がとても大変です。私もデビュー後はアシスタントとして3本の連載を手伝いながら、読み切りを描いたり、4週連続の短期集中連載などをこなしたりしました。そのときはほとんど寝てなかったと思います。

私が描く作品それぞれにテーマがありますが、すべてに通じるものが「友情」です。「何かあると、友情は信頼できる」というテーマはどの作品も強めに描いています。隅田川で海賊をやる「個島パイレーツ」や公務員をヒーローにした「かもし課」など、少年誌で「なぜ？」と思うものを漫画にしたこともあります。私たちの生活は普通の人とあまり変わりませんが、普段の生活のどこにひっかかるかで見方が変わり、それがアイデアになります。

漫画家とふる里

地元を舞台にした「妹先生渚」の反響は大きかったです。芦北町・水俣市のロケ地をめぐる「渚ツアー」が開かれたり、「芦北伽哩街道」のポスターになったりして、いたるところにイラストがありました。読み手の反応を見ることが少ないので、漫画フェスタのサイン会で夜中から待ってくれるファンや、電車やコンビニで自分の漫画を読んでいる人を見たときには感動しましたね。

地元に戻ってきてからいろんな行事に出ることが多くなり、さらに忙しくなりました。静かに暮らしたいという気持ちもあります。地元に戻ってきた身として、漫画を描く技術でまちの役に立てることがうれしいです。協力を依頼されると、深く考えなくて「やりましょう」と言っています。いつまで描けるかは分かりませんが、ずっと漫画を描き続けたいです。年を重ねても妙に大人ぶるのではなく、これからもずっと、攻めの漫画を描き続けていきたいですね。

Special Interview 村枝 賢一 さん (48 = 漫画家)

Profile むらえだ けんいち

昭和62年に漫画家デビュー。代表作に「俺たちのフィールド」、「RED (レッド)」、「仮面ライダースピリッツ」、地元芦北町を舞台にした「妹先生渚」など。19歳で上京。平成24年、東京に事務所を置き、芦北町へ帰郷。卓越した画力と熱い人間ドラマで読む人の心を引きつける。平成25年には妻であり漫画家の森真理さんと合同の原画展を湯前まんが美術館で開催した。ゆのまえ漫画フェスタで開くトークショーやサイン会にはたくさんのファンが集まっている。



漫画が持つさまざまな 魅力を肌で感じて まちと人が発信すること



崇城大学
小川 剛 助教(34)

Profile おがわ つよし

崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース助教授。京都精華大学国際マンガ研究センター共同研究員。専門は漫画と教育。学生だけでなく、各地で漫画の展覧会や体験学習を開催し、描き方や文化など、漫画の魅力を多くの人に伝えている。湯前小・中学校で漫画授業を担当。

崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース

平成25年、崇城大学に新設されたコース。イラストレーション・漫画制作、脚本・ストーリー制作などの実践的な技術や漫画史(文化論、産業論)を学ぶことができる。デザイン学科の学生数は現在1年生38人、2年生21人。

漫画を切り口に魅力発信
漫画授業の講師を務める小川助教。「中学校の美術の学習指導要領に『漫画』という項目があります。漫画の何をどうやって教えるかは、まだまだ全国的に広まっていません。しかし、湯前では子どもたちがハードルの高い風刺漫画で、メッセーjジ性的のある作品を上手に作り上げています」と評価します。子どもたちは自分の作品を教室でクラスメイトに発表したり、自宅で家族に説明したりしてコミュニケーションをとっています。「湯前は歴史遺産やおいしい農産物があり、那須良輔さんの出身地でもあります。漫画と食、漫画と歴史など、漫画そ

のもがもつ『横の広がり』を切り口にしていくことで、湯前の魅力をたくさんの人に伝えられるのではないのでしょうか。漫画はジャンルや時代などによって細かく分けることができます。好みも人それぞれです。「町外の人に来てもらうイベントと、住民のための取り組み、2本、3本と漫画を活用していくことが大切です。漫画に出てくる料理を実際に作って食べてみるなど、絵から飛び出してくるような魅力を使って住民に楽しんでもらうこともできます。主になる魅力は漫画じゃなくても良いと思います。」

真の漫画のまちへ
まちで行われているたくさん漫画を核としてさまざまな取り組みをしている湯前。そのこだわりが全国へ広まっています。実は、私たちの生活にも漫画が広まりつつあるのです。

生活に広まる
湯前小・中学校では平成24年から風刺漫画や似顔絵の授業を開催しています。現在、崇城大学の小川剛助教を講師に、子どもたちが授業で漫画を作っています。同年、まんが美術館で開いた「巨人の星」原画展をきっかけにまちの野球大会を「巨人の星杯」として開催。表彰状には巨人の星のイラストが描かれています。ことし2月のゆのまえ祭りでは、うえやまとちさんの「クッキングスタジオ」を開催。「クッキングパ」に掲載されたイチゴのスイーツをうえやまとちさんと参加者が一緒に作りました。こうして少しずつ住民の生活にも漫画が広まりつつあります。

んの取り組みも「漫画」があるからこそできるもの。寝食を忘れるほどの漫画家の努力があつて作品が作られています。その苦勞を知る小川助教は「漫画への敬意を忘れないこと、固まった概念を持たないことが大切です。常に何かとの組み合わせを前向きに考えていくこと。読み描きだけでなく、漫画がもつ魅力を利用んな形で体験することができます。それをまちや住民がみずから発信していくことで、真の漫画のまちになっていくのではないのでしょうか」と話します。まちを訪れる観光客や住民、それぞれに合った取り組みができる懐の深さ。漫画はまちづくりの可能性を秘めています。



湯前小・中学校の漫画授業。教室での授業と崇城大と小中学校をインターネットでつないだ「オンライン」での授業も開催している。

広がる漫画熱

漫画を核としてさまざまな取り組みをしている湯前。そのこだわりが全国へ広まっています。実は、私たちの生活にも漫画が広まりつつあるのです。

全国からファン集う

もつとたくさんの人にまちへ来てもらおうと、平成20年から漫画フェスタでアニメソング歌手のスペシャルライブが始まりました。平成24年にはアニメソング界の帝王と呼ばれる水木一郎さん、平成25年にはアニメ「ドラゴンボール」の主題歌を歌う影山ヒロノブさん、「ワンピース」の主題歌を歌う、きただにひろしさんのライブが開かれました。漫画フェスタの前夜祭も開かれるようになり、漫画家によるトークショーや画力対決に全国から集まったファンが酔いしれています。「来年は誰が来るのだろう」と毎年ファンのイベントへの期待も高まっています。

生活に広まる

湯前小・中学校では平成24年から風刺漫画や似顔絵の授業を開催しています。現在、崇城大学の小川剛助教を講師に、子どもたちが授業で漫画を作っています。同年、まんが美術館で開いた「巨人の星」原画展をきっかけにまちの野球大会を「巨人の星杯」として開催。表彰状には巨人の星のイラストが描かれています。ことし2月のゆのまえ祭りでは、うえやまとちさんの「クッキングスタジオ」を開催。「クッキングパ」に掲載されたイチゴのスイーツをうえやまとちさんと参加者が一緒に作りました。こうして少しずつ住民の生活にも漫画が広まりつつあります。

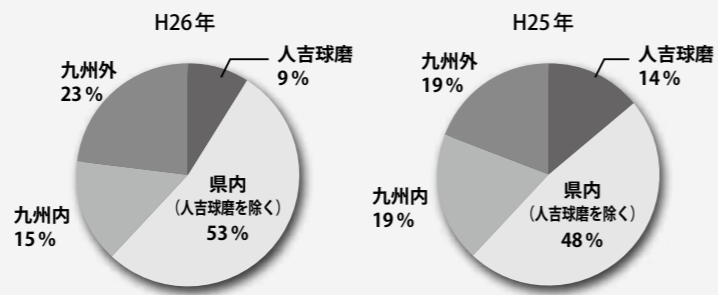
1 川崎のぼるさんの直筆のイラストを見る選手たち。2 漫画フェスタのスペシャルライブではあふれんばかりの人が集まる。3 町職員も小川助教から漫画の描き方を学び、似顔絵入りの名刺を作っている。



全国から集まる漫画ファン

グラフは漫画フェスタのサイン会の申し込みの状況です。過去2年とも県内に住んでいる人(人吉球磨を除く)が約半数を占めていますが、次に多いのは九州以外からの申し込みです。漫画フェスタは全国各地から注目される祭りになりつつあります。

過去2年間の漫画フェスタサイン会の申し込み状況→





ゆのまえ漫画フェスタコスプレ実行委員会

町民を中心に漫画・アニメ好きが集まる。メンバーは26人。コスプレ初心者がほとんどだが、経験者を中心に会議やメイクの練習を重ね、本番の準備を進めている。モットーは「とにかく全力で楽しむこと」。



- 1 まゆを消すメイクに挑戦
- 2 ジブリ映画のキャラクターに変身
- 3 さまざまなメイク道具を用意
- 4 インターネットでキャラクターを研究
- 5 経験者からメイクや衣装の着方を学ぶ

「好き」がまちの「力」

ここで暮らす、あなたの「好き」がまちの「力」

漫画フェスタを盛り上げるために、ことし新しく
始めたのは住民や町職員による「コスプレ」です。
まちと人がさらなる挑戦を続けています。

人を楽しませるには自分から
平成24年からくま川鉄道による「漫画キャラ仮装列車」の運行が始まりました。コスプレをした人が鉄道に乗って漫画フェスタの会場に足を運んでいます。もっとたくさんの方が祭りを楽しくするように、ことし9月から「ゆのまえ漫画フェスタコスプレ実行委員会」が立ち上がり、26人が名乗りを上げました。

会議ではそれぞれ好きな漫画やアニメを言い合って自己紹介をしました。コスプレは数人を除いて、ほとんどのメンバーが初めて。当日の着替

えやメイクは自分でしなければなりません。経験者からメイクや衣装の着方などを教えてもらいながら、コスプレの知識を学んでいます。「漫画のキャラクターは唇も肌色だから肌色にする」など、漫画をよく見て、研究。メンバーは「とにかく楽しんでコスプレをすること」を目標に準備を進めています。

好きの共有が きっかけを生む

気軽に読むことができ、楽しい。たくさんの人を魅了する漫画。まちづくりでは、まちを訪れた人に「また行きたい」と思ってもらうこと、住

「みんな」だから楽しめる

おもしろそうな企画だと思ったので参加しました。当日のバザーではコスプレして販売したいですね。みんなでやるからこそ楽しめます。初のコスプレなので、メイクや動きを勉強して挑みます。



たきもり みちた
瀧森 道太さん (25 = 下城)
黒子のバスケ:緑間 真太郎

楽しんで教え合う

友人がきっかけで19歳のころからコスプレをしています。実行委員会でメイクや衣装の着方を、楽しみながら教え合っています。人吉球磨の中でアニメや漫画で集まることができてうれしいです。



くろぎ あやか
黒木 彩加さん (24 = 水上村)
黒子のバスケ:赤司 征十郎

んでいる人が「ここで良かった」と思えることが大切です。各地からたくさんの方が訪れ、私たちもこのまちでたくさん漫画とかかわっています。湯前の魅力を知り、伝えていくのはここで暮らす私たちです。コスプレ実行委員会のメンバー一人一人の気持ちがあちを盛り上げる大きな力になるうとしています。

現代漫画の基礎をつくった那須良輔さん。偉大な漫画家を生んだこの地に住む人の「漫画が好き」という気持ちがあちの宝物です。あなたの好きなものは何ですか？それを家族や友人に伝えてみませんか？あなたと同じ気持ちを持った人があちにはいます。他人と気持ちを共有することで「もっとこうしたい」という欲が生まれ、それが行動へとつながっていきます。

自分の気持ちを口に出してみることは自分の生活やまちを変えるチャンスかもしれません。

特集 漫画のまちの「マン」パワー

(完)

応募総数555点

大賞(一般部門)に「宅配新時代」

県内初の大賞受賞

第24回那須良輔風刺漫画大賞の審査会は9月29日、神奈川県鎌倉商工会議所で開かれ、一般部門の那須良輔大賞(賞金50万円)に天草市在住の荻原清臣さん(67)の「宅配新時代」が選ばれました。

県内在住者の大賞受賞は初。審査員は漫画集団に所属し、那須良輔さんともなじみのある、漫画家のカサマツヒロシさん、二階堂正宏さん、種村国夫さんが務め、審査会場には良輔さんの妻・美代さんも出席しました。ジュニア部門の那須良輔大賞(中学生の部)には藏座まゆさん(多良木町多良木中3年)の「台風せっきん!!」、湯前町長賞(小学生の部)には恒松美咲さん(湯前小4年)の「かき氷の山」が選ばれました。

NO.1 第24回那須良輔風刺漫画大賞

〈一般部門〉 那須良輔大賞「宅配新時代」 天草市 荻原 清臣さん(67)

作者談:首相官邸に、あるいは災害現場に出没し、活躍するドローン。良くも悪くも世の中に存在をアピールし、海外では宅配にまで活動範囲を広げるニュースも。マンション、ビル街の宅配受領もこんな風になるかも。



ことしは一般部門に216点、ジュニア部門に339点が応募されました。一般部門は、60歳から80歳の作品から多く、切れ味がありユーモアあふれる力作ぞろい。自然災害や地球温暖化、ドローン、スマートフォン、安全保障問題など、話題となっている出来ごとを取り上げた作品が目立ちました。

大賞に選ばれた「宅配新時代」は審査員から「ドローンの宅配便をドローンがはんこを持って待ち受けているという傑作。奥行きがあり、動きのあるすばらしい作品」と高い評価を受けました。

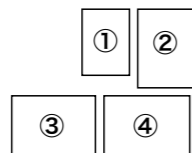
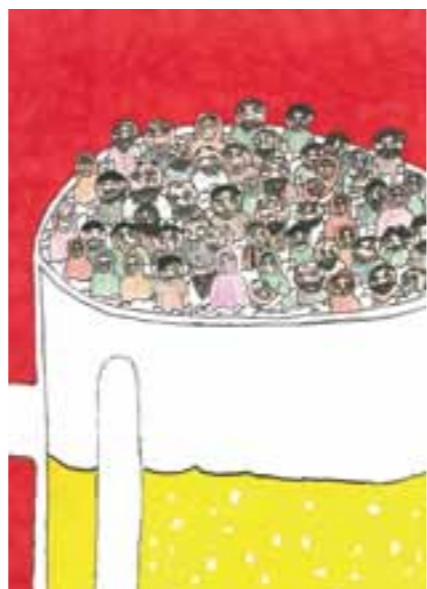


10月16日に記者発表し、各メディアでも紹介された

〈一般部門〉

①審査員特別賞
「エアバッグ」
長崎県
伊藤 兼秀さん(62)
評価:味のあるすばらしい作品。ナンセンス漫画として傑作。

②肥後モッコス賞
「ドイツへの難民」
熊本県
尾方 郁さん(42)
評価:寄せられた作品の中で唯一、難民問題をテーマにしている。ビールジョッキの中に難民があふれんばかりに押し寄せていて、傑作。



〈ジュニア部門〉

③那須良輔大賞
「台風せっきん!!」
藏座 まゆさん
(多良木中3年)
評価:独自の感性で日本列島全体が生き物にカラーージュしている。台風を蚊取り線香で表現するオリジナルのアイデアを高く評価した。

④湯前町長賞
「かき氷の山」
恒松 美咲さん
(湯前小4年)
評価:子ども独特のメルヘンの世界を表現している。だれの真似でもなく、自分が感じたままを素直に表現している。



Yunomae Hot Repotage

— 今、熱い湯前の話題 —
ホット・ルポタージュ

- ◆競技結果
- 〈女子〉
- ①人吉第二中 1時間05分18秒
 ②湯前中 1時間05分34秒
 ③あさぎり中 46分07秒
- ⑫湯前中B 50分31秒
 (中田星来、伊藤雪子、那須花、浜崎雪乃、黒木歩希)
- ※(通過順位)(区間順位)
- | | | |
|----|-------|--------|
| 1区 | 古市雅 | (4)(4) |
| 2区 | 山崎隼汰 | (3)(1) |
| 3区 | 太田流衣 | (3)(4) |
| 4区 | 大山亮仁 | (3)(3) |
| 5区 | 福田慎之介 | (3)(6) |
| 6区 | 渋谷優斗 | (3)(3) |
- ⑫湯前中B 1時間11分41秒
 (財部薫、上田翔人、藏座渉、江夏樹李、荒川倅一、椎葉亮太)
- ⑪湯前中C 1時間16分49秒
 (中田光、赤池宗一郎、永池純青、石原峻、山崎壮一朗、中田翔)

- ◆競技結果
- 〈男子〉
- ①人吉第二中 1時間05分18秒
 ②湯前中 1時間05分34秒
 ③あさぎり中 46分07秒
- ⑫湯前中B 50分31秒
 (中田星来、伊藤雪子、那須花、浜崎雪乃、黒木歩希)
- ※(通過順位)(区間順位)
- | | | |
|----|------|--------|
| 1区 | 栗原泉 | (2)(2) |
| 2区 | 多田華歌 | (2)(2) |
| 3区 | 橋本桜 | (2)(4) |
| 4区 | 浜崎郁乃 | (2)(8) |
| 5区 | 吉村柚花 | (2)(6) |
- ⑫湯前中B 50分31秒
 (中田星来、伊藤雪子、那須花、浜崎雪乃、黒木歩希)

NO.2

球磨人吉中体連駅伝大会

女子2年連続で
県大会へ



2位でたすきをつないだエース栗原選手(ゼッケン7)



2年連続で県大会出場をつかんだ女子(5区 吉村選手)

平成27年度球磨人吉中体連駅伝大会は10月22日、あさぎり町立あさぎり中学校をスタート、フィニッシュとする男子6区間:20キロ、女子5区間:12キロのコースで開かれ、湯前中学校女子(久間章弘監督)が2位で2年連続となる県大会出場を決めました。



全校生徒が各地点で選手を応援した

ことしは湯前中の全生徒が沿道で選手を応援。昨年、悲願の初優勝を果たした女子は栗原選手(同校2年上染田)、多田華歌選手(3年馬場)がともに区間2位の走りたすきをつなぐと、後続も順位を落とすことなく、総合2位でフィニッシュしました。男子は2区山崎隼汰選手(3年上村)が区間賞の走りを見せるなど、全員が粘りのたすきリレーで上位2チームを追いかけましたが、2位錦中学校と1分17秒差の3位でフィニッシュしました。久間監督(34)は「応援してくれた人たちに結果を報告してお礼をすること。男子も女子も、みんなが悔しい。女子は県大会でもう一度みんなに感動を与えられるような走りしよう」と選手たちに話していました。上位2チームは11月6日に天草市で開かれる県大会に出場します。

NO.3

湯前小学校運動会



息びったりの演技を見せた赤団

赤白、全力の
応援合戦

平成27年度湯前小学校(西浦大蔵校長)の運動会は9月28日、同校で開かれ、児童190人が赤・白二つの団に分かれて、個人種目やリレーなどの団体競技で競い合いました。



一人一人が全力の演舞を披露した白団

伝統の応援合戦では赤団、本村匠くん(同校6年上中里)、白団、岩野桃子さん(6年下染田)を団長に1年生から6年生まで全員が団結。気迫あふれる応援をみせました。応援合戦は白が勝利しましたが、総合成績で赤団が優勝しました。プログラムの最後を飾ったのは5・6年生のダンスと組み体操。一糸乱れぬ演技に会場からこの日一番の拍手が送られました。

有機農法の良さを伝えよう
と、ゆのまえ自然農法有機農
友会(金子重實代表)が主催、
国内産の雑穀米や九州産の野
菜・海産物を販売するベスト
アメニティ(株)が共催してい
ます。会場にはココナツカ
レーやコーヒー、生ビール、湯
前産の雑穀米や雑穀焼酎など
が販売され、コンサート前か
ら多くの人が買い求めていま
した。

Yaeさんは歌手・加藤登
紀子さんの次女で、平成14年
に歌手デビュー。東日本大震
災の応援メッセージCMソ
ングやテレビドラマ「レッドク
ロス」女たちの赤紙」の挿
入歌を担当するなど、全国で
活躍。平成19年から土に生き
ることの幸せを伝えるために
全国各地の農山漁村をめぐる



境内にカレーライスやコーヒーなどの
飲食を楽しむスペースも作られた

コンサート会場はお寺

10月16日、歌手Yaeさんによる
「Yaeコンサート in 榮立寺」が
榮立寺で開かれ、多くの人でにぎ
わっていました。

「種まきライブツアー」を開催
しています。
会場の大きな拍手に迎えら
れてYaeさんが登場。Yae
さんは「湯前のすばらしい
人や景色に出会えてうれしい
です。今日は歌で日ごろの疲
れを癒していただければ」と
あいさつしました。堂内には
Yaeさんの透きとおるよう
な声が響き渡り、来場者は金
曜日の夜に1週間の疲れをい
やしていました。



観月祭伝統の子どもたちの綱引き

NO.4

観月祭

観月祭は9月27日に湯前駅レールウイング
で開かれ、たくさんの人でにぎわいました。



城泉寺と会場でキャンドルの幻想的な雰囲気を楽しむ来場者

観月祭は湯前町観光物産協会
(谷口幸範会長)とくま川鉄道
(株)が主催。会場では十五夜に
合わせて、子どもたちによるつ
綱引きや輪投げが行われました。
町内業者が生ビール・焼きそば・
スイーツ・特産品などのバザー
を出展。午後8時過ぎにはく
もっていた空から月が見え隠れ
し、来場者はダンスやオーケス
トラ演奏、大道芸などのステ
ージと一緒に楽しんでいました。
観月祭にあわせて、会場と国
指定重要文化財「城泉寺」の2カ
所でキャンドルナイトが行われ
ました。城泉寺では約300
個の竹灯りや、お堂の壁に映像
を投影する「プロジェクトシ
ョン マッピング」を行い、シャトルバ
スで訪れた人たちは幻想的な雰
囲気を楽しんでいました。



透きとおるような歌声で
会場をいやしたYaeさん

NO.5

Yaeコンサート in 榮立寺



たくさんの人がバザーや
ステージを楽しんだ



7



5



6



2



4



3



1

- 1 保育園児同士の対決、勝負はいかに!?
- 2 31回の大記録で優勝へと突き進んだ野中田3区
- 3 たくさんの町民が集まった町民グラウンド
- 4 コースを素早く駆け抜けるランナーたち
- 5 ゆっくんと一緒に湯前音頭
- 6 子どもから大人へとバトンパス

第57回湯前町民体育祭 野中田3 31回の大ジャンプでV

第57回湯前町民体育祭が10月11日に湯前町民グラウンドで開かれ、20地区が14種目の競技に出場し、住民の交流を深めました。野中田3区が総合得点144点で優勝し、3連覇がかかっていた上里3区は総合137得点で惜しくも2位となりました。

昨年は台風接近のため中止になりましたが、ことは正午から太陽の光が差し込み、絶好の体育祭日より。野中田3区は飛んだ回数で得点になる(5回以上、大縄跳びの競技「21世紀もジャンプ」で31回のジャンプに成功。その勢いで800m競走で1位になるなど順調に得点を重ねました。躍進賞は前回から6つ順位を上げた野中田3区と瀬戸口区、中里2区が受賞しました。

■総合成績

①野中田3	144点
②上里3	137点
③馬場	123点
④下染田	119点
⑤田上	117点
⑥瀬戸口	112点

■躍進賞

野中田3
※前回7位から今回1位
瀬戸口
※前回12位から今回6位
中里2
※前回14位から今回8位

■湯前町体育功労者表彰
土屋 弘美さん
(63歳野中田2)
※卓球競技



12



11

- 7 8 カと力のぶつかり合いで大盛り上がりの綱引き
- 9 応援もかかさず、全員でプレー
- 10 二人三脚、笑顔でゴール
- 11 リムの行方はだれにも分からない
- 12 ボールをかごへ、二人の協力プレー
- 13 ゴール後に得点分かるドキドキの「人生いろいろ」
- 14 ダンスで会場を盛り上げる上里3区
- 15 一番先にボールを入れるのは…?
- 16 1位ゲットのうれしい瞬間



8



10



16



14



13



10

10月8日(木)～

B & G健康ベースアップ教室は10月8日からB & G海洋センター体育館で開かれ、約20人が健康測定や体幹トレーニングなどで健康的な体づくりを体験しています。
冬場の体力づくりを目的にこしから始められ、町教育委員会、公立多良木病院健診センター「コスモ」、B & G海洋センターが主催。教室は10月8日から始まり、毎週木曜の午後7時から同体育館で開かれます。参加費は1回につき大人500円、小学生以下が200円で、家族で参加すると子どもは無料になります。
健診センターコスモのトレーナー、村山直さんと平井景子さんが指導員として参加者の体づくりをサポート。小学生を対象にした運動教室も同時に開催しています。10月22日には器材を使った体幹トレーニングなどを体験し、参加者は「子どもと一緒に楽しく体を動かせた」と鍛えるところをくわしく知ることができた」と感想を残していました。

冬場の体力づくりがスタート
B&G ベースアップ教室



体幹トレーニングを体験する参加者

10月12日(月)、13日(火)

湯前小学校4年生の通学合宿は10月12、13日に農村環境改善センターで行われ、児童24人が親元を離れて生活し、家族や地域のありがたみを学びました。
取り組みは児童が家庭を離れ、友達と共同生活をしながら、地域や家族のことを考えるために開かれ、町教育委員会が主催、町青少年育成町民会議などが共催しています。児童は4つの班に分かれ、ニチレクボールなどのレクリエーションを終え、夕食の準備に移りました。自分たちで買った食材を使って、町食生活改善推進委員と一緒にカレーとサラダを調理。夜の学習タイムでは町青年団員に教えてもらいながら算数や国語の問題を解いていきました。参加した中田有咲さん(同校4年)は「お母さんが毎日苦労していることが分かった。これからは私も家事を手伝うようにしたい」と話しました。

家族や地域のありがたみを学ぶ
湯前小4年生通学合宿



食改員と一緒に料理を作る児童

10月15日(木)～

介護予防サポーター養成講座の第1回が10月15日に湯前町保健センターで開かれ、19人が手や足を動かし、楽しみながら介護予防を学びました。
「いつまでも元気でいられる体と心づくり」を目的に開かれ、11月末までに計7回の講座を開催。第1回は理学療法士の徳井美由紀さんと健康運動指導士の寺崎健生さんを講師に「介護予防の必要性」のテーマで開かれました。前半は徳井さんが介護の現状などを説明。その後、参加者は寺崎さんの指導でイスに座りながらできる体操を体験しました。グループリーダーのかけ声と音楽に合わせて、参加者は笑顔で会話をしながら、介護予防を学んでいきました。参加した尾崎ふみよさん(65)は「野中田3」は「自分の将来のために参加した。みんなで楽しみながら運動することで脳と心が見えなくなった」と話していました。

楽しみながら介護予防
介護予防サポーター養成講座



講師と一緒に楽しく、体を動かす受講者たち

10月18日(日)

水士里ネット幸野溝と百太郎溝が主催する「田んぼの学校」が10月18日に南稜高校と町内一帯で開かれ、約120人の親子が農業体験や幸野溝探検で楽しみました。
日ごろ経験することが少ない農業や日本遺産にも認定された幸野溝を探索することで農業やこの土地の歴史を感じてほしいと毎年会場を移しながら開催され、ことしで13回目。南稜高校では同校の生徒たちが稲刈りや搾乳アイスクリーム作り、ベビリーフの種まき、木工体験などで参加者に農業の楽しさを伝えました。午後からは湯前に移動し、浜川地区の小水力発電施設やずい道を探検。参加者は2班に分かれて、ゴムボートに乗り、30分ほどの幸野溝下りを楽しみながら、上球磨の農業の歴史を肌で感じていました。

歴史の深さを肌で感じる
田んぼの学校を開催



町内のずい道を探検する子どもたち

10月18日(日)

慈光保育園(藤岡孝史園長)の運動会は10月18日に湯前小学校体育館で開かれ、園児110人が体操やかけっこなどに全力で挑みました。
年長児の多良木朱音さん(上里1)、野口翔登くん(上村)が元気に開会のあいさつ。より近くで園児たちの姿を見て欲しいと体育館で開催され、たくさんの保護者や住民が駆けつけました。藤岡園長は「皆さんの周りにはたくさんの保護者や地域の人がいる。最後までしっかりと全力を出して、精一杯の感謝をみんなに届けよう」とあいさつしました。
同保育園が1年を通して取り組んでいる体操競技「体の力」では、年長児らが逆立ち歩きや片手側転、跳び箱など見事な体操を披露しました。会場からは大きな拍手が送られ、我が子の成長した姿に保護者らは感動していました。

全力競技で成長を披露
慈光保育園運動会



美しく力強い体操を会場に披露した園児たち

10月21日(水)

湯前中学校(高田哲弘校長)の芸術鑑賞会が10月21日に同校体育館で開かれ、98人の生徒たちが生の落語に驚いたり笑ったりして楽しんでいました。
落語の鑑賞会は熊本県教育会館の事業の一つとして7年前に始まり、毎年県内の中学校で開かれています。高田校長は「日本にはたくさんの伝統芸能がある。今日は生の落語を聞いて、ぜひ日本語の美しさや楽しさを味わってほしい」とあいさつしました。
扇家助さんによる太神楽や太田そのさんによる三味線の演奏が行われたあと、柳家喬之助師匠、柳家さん喬師匠による落語があり、生徒はときになづいたり、ときに笑ったりして日本語を楽しんでいました。福田慎之介さん(同校3年)は「一人で何役もこなしているのに話の登場人物や情景が頭に浮かんできた。とてもみどころがあり、楽しかった」とお礼を伝えました。

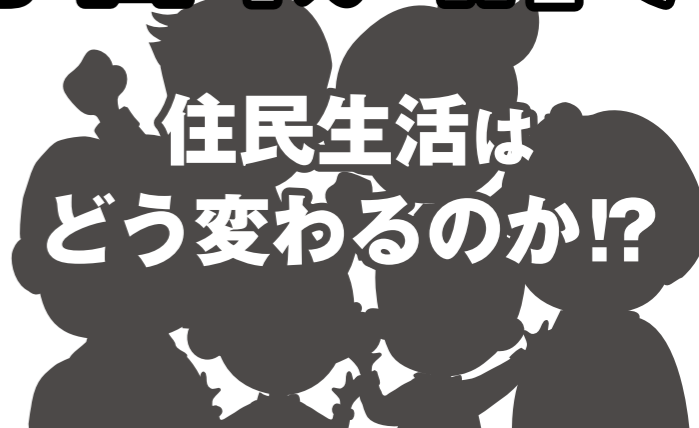
日本語の楽しさを体感
湯前中学校芸術鑑賞会



落語や和楽器の演奏を聞く生徒たち

地方創生先行型の事業が可決

「湯前町総合戦略」で



平成27年第5回湯前町議会定例会は9月7日から16日に開かれました。「湯前町総合戦略」に盛り込むことを想定した交付金である地方創生先行型の補正予算や、平成26年度決算など21の議案と一般質問を審議しました。

一般質問

◆森山 宏 議員
〈乗り合いタクシー〉
(コミュニティバス)

質問 交通弱者、買い物弱者への移動手段確保対策と本町の取り組みについて
答弁 白川総務課長
コミュニティバスなどの施策に早くから取り組んだ地域や、民間バス会社が撤退する中で、周辺部の交通弱者対策として取り組んだ地域もある。本町では、自家用車を持たない高齢者世帯などに、タクシー券の助成や福祉面での送迎サービスを実施している。通学通勤の移動手段として利用される「くま川鉄道」や、町外への通院・買物などに利用される「産交バス」へ補助金を支出している。

◆椎葉 弘樹 議員
〈農業支援対策の検証〉
質問 農業経営体の育成について
答弁 鶴田町長
農業公社は、技術的な指導、

新規就農の支援なども大きな役割。公社やJAが持つ知恵を出しながら、行政としても今後の事業継続に向けて、新規就農者の育成を図っていかねばいけない。それぞれの組織や事業体との協議も進めながら活用していかねばいけない。

◆金子 光喜 議員
〈住宅建築支援〉
質問 湯前町木材需要拡大促進事業補助金について
答弁 鶴田町長
今回、総合戦略や実施計画などを策定している。今後5年間の政策は非常に重要。しっかり協議し、政策を一つずつ検証し、次の展開へつなげていかなければいけない。

質問 労働生産性の高い作物選定について
答弁 鶴田町長
県が進めているフードバレー構想などでも、連携や情報発信が重要になってきている。本町も先進的な事例やこれまで培われてきた技術、知恵を活用して取り組まなければいけない。これまでの事業、今後の事業展開について十分検討し、必要な配置をしていけるよう協議を進めていきたい。

◆椎葉 弘樹 議員
〈既存農家の支援について〉
質問 既存農家の支援について
答弁 鶴田町長
平成28年度4月に既存農家の支援を実施する準備を進めている。ただし、地方創生における国の予算組みも大きく変化している。しっかりと情

空き家の住宅改修はお金が必要。補助する場合は、定住促進という名目で、組み立ても含めて検討しなければいけない。

報を得ながら、事業の組み立てをしていくうえで実施時期を決定していきたい。

質問 今後の住宅建設に対する支援について
答弁 白川総務課長
住宅建設の支援は目的が重要。よく考えて、まちづくりの考えを示さなければいけない。防災上の耐震対策の補助は、その費用効果も見極めながら、調査させていただきたい。

政治倫理審査会とは？
政治家の倫理を審査するために、地方議会などに置かれる組織です。
本町では、「湯前町政治倫理条例」に基づいて審査会が設置されます。議員や町長、副町長、教育長は、みずから厳しい倫理意識と高潔な品位に基づき行動することが求められます。なお、政治倫理審査には委員の報酬、費用弁償、会議録調製委託料などの経費が必要で

条例改正

- 湯前町一般職非常勤職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例 ※地域おこし協力隊関連
- 湯前町個人情報保護条例の一部を改正する条例 ※マイナンバー関連
- 湯前町手数料条例の一部を改正する条例 ※マイナンバー関連

常任委員会報告

◆総務常任委員会

- 8月 マイナンバー制度の現状と今後の運用について
- 9月 町有財産の管理状況について

◆経済建設常任委員会

- 8月 上水道について
- 9月 ゆのまえ湯楽里(株)の経営状況について

◆厚生文教常任委員会

- 8月 付託案件：議案第33号 球磨郡公立多良木病院企業団規約の一部変更について ※訪問看護ステーション関連
- 9月 社会体育事業の現状と課題について

平成27年度一般会計補正予算 ※主なもの

▼歳出

【凡例】 ◎：地方創生先行型

◎ ふるさと納税推進・特産品活用事業・返礼品代、ポータルサイト業務委託料 ほか	499万8千円
◎ 宮城県へのシイタケ用原木安定供給事業	350万円
◎ 地域伝統芸能等保存事業	300万円
◎ 健康寿命延伸に向けたプログラム作成事業	250万円
○ マイナンバーシステム関連	932万円
○ くま川鉄道経営安定化補助金	319万7千円
○ 県営経営体育成基盤整備事業負担金	384万円9千円
○ グリーンパレス中段広場宿泊施設工事関連	2353万2千円
○ 政治倫理審査会関連	54万円
○ 台風15号被害関連 ・町道維持補修工事、弓道場修繕料 ほか	300万2千円

▼議案と各議員の賛否 【凡例】○：賛成、×：反対

◎議案第56号一般会計補正予算(第5号)原案可決
[政治倫理審査会関連・台風被害関連・全国青年大会関連など]

議席番号	議員名	賛否	議席番号	議員名	賛否
1	椎葉 弘樹	○	6	倉本 豊	○
2	森山 宏	×	7	小川 一義	○
3	黒木 龍次	○	8	森崎 勝	○
4	味岡 恭	○	9	黒木 喜巳男	×
5	金子 光喜	○			

※上記議案以外は全員賛成

トピックス

平成27年度議会議員産業視察研修

8月24日～8月27日、町長と議員9人、事務局2人の12人で、北海道へ研修に行きました。研修の目的は、本町関連の先進地視察と、積丹町・芦別市との連携強化です。

積丹町	JTの森積丹事業、B&G地域コミュニティ再生モデル事業
芦別市	木質バイオマスボイラー事業、空き家対策関連事業
富良野市	物産直売所の状況
美瑛町	「日本で最も美しい村」連合加盟



編集後記

本町の人口減少を食い止め、地域活性化を目指す「湯前町総合戦略」が策定されました。
この戦略を実施するにあたり、各施策の効果を検証し、改善を行う仕組み(PDCAサイクル)が導入されます。調査や検証の結果を住民の皆さまに公表し、住民との協働を展開することで、「住民による住民のための政治」という住民自治の原則がさらに尊重されることを期待しています。

◇編集委員
椎葉弘樹・金子光喜



重度自閉症の著者が「生きる」ことの本質を鋭くとらえた一冊



電子メディア媒体「cakes」の大人気連載がついに書籍化！小学生の頃から絵本やエッセイなど、多くの作品を執筆してきた彼が、「ひとりの22歳の人間」として書いたエッセイ37本と、素顔が垣間見えるインタビュー4本を掲載。何度でも読み返したくなる、珠玉の一冊です。

跳びはねる思考
会話のできない自閉症の僕が考えていること
東田 直樹(著) イースト・プレス

体を温める食材別 139 レシピ掲載！



体を温める食材がすぐ分かる。おこな食材別にレシピを掲載。効能つき。「主菜」「副菜」「鍋もの」「汁もの」「ご飯・麺」が一目で分かる。全品カロリー表示つき。「材料別索引」で、今ある食材ですぐにできます。

新今日から使えるシリーズ 毎日冷えとりレシピ
川嶋 朗(監修), 講談社

児童養護施設を舞台に繰り広げられるドラマティック長篇



三田村慎平・やる気は人一倍の新任職員。和泉和恵・愛想はないが涙もろい3年目。猪俣吉行・理論派の熱血ベテラン。谷村奏子・聞き分けのよい「問題のない子供」16歳。平田久志・大人より大人びている17歳。思いがづらなり響く時、昨日と違う明日が待っている！

明日の子供たち
有川 浩(著) 幻冬舎

中央公民館図書室

読書のススメ



○平日8:30~17:00
○土日・祭日9:30~17:00
※貸出期間は2週間で、一人5冊まで。
〈お問い合わせ〉中央公民館 (TEL 0966-43-2050)

温かいユーモアが笑いを誘う



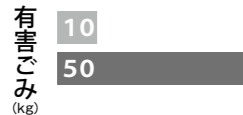
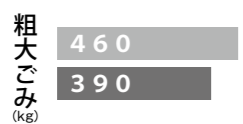
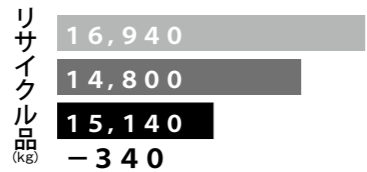
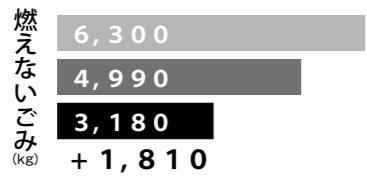
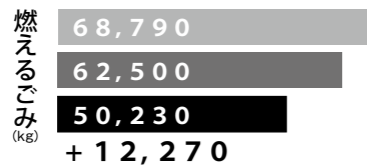
ボールを池に落としてしまったり、おつりを無くしてしまったり……ワンピースを着た女の子が困って泣いていると、いつだって「どうしたのよ？」と、カエルさんが助けにきてくれます。コールデコット賞作家ツェマックが親子で創った、小さくてかわいいお話三つ。温かいユーモアが笑いを誘います。

おひめさまとカエルさん
ハーヴ&ケーテ・ツェマック(著), 岩波書店

10月のごみ情報

9月末人口:4,167人

先月分 今月分
■ 昨年9月分



一人一人の意識が、ごみを変えていきます。ご協力をお願いします。

家電品の適切な引き渡しをお願いします！

家電リサイクル法は、一般家庭や事務所から排出された家電製品をリサイクルすることで廃棄物を減らし、資源の有効利用を推進するための法律です。

↓町では次の家電を回収、処分することはできません。
テレビ/エアコン / 冷蔵庫・冷凍庫 / 洗濯機・衣類乾燥機

処分の方法
・家電販売店にお願いする
・収集運搬業者をお願いする
・自分で指定の引取場所まで持ち運ぶ

持ち込む場合には、事前に料金の支払方法などを電話で確認してから持ち込んでください。

指定引取場所 株 高木栄商店
人吉市願成寺町1650-1 (Tel 22-2514)

※違法な不用品回収会社には出さないようにしてください。

<家電リサイクル法についての問い合わせ>
家電リサイクル券センター ☎ 0120-319640
午前9時~午後5時ごろ(日・祝休)

リサイクルステーションからのお願い！

*リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。白トレイ、かん、ペットボトルは、きれいに洗って乾燥して出してください。
*布団、シーツ、毛布、綿入れ製品はリサイクルできません。指定袋に入る程度に切って燃えるごみで出してください。

*11月の不燃物収集は
4日と18日です。(第1・第3水曜日)
*11月23日(月)祭日は、ハッピーマンデーでいつもどおり収集します。

11月23日 B&G健康づくり講演会・健康づくり体験会を開催します



B&G 地域コミュニティの再生に関するモデル事業

海洋センターを使って、地域のコミュニティや健康づくりをするために、B&G 海洋センターのロビーの改修や冷暖房設備を整えたほか、各種測定機器や運動器具を置いて、さまざまな運動や活動ができるようになりました。生まれ変わったB&Gで健康づくり講演会・体験会を開催しますので、ぜひご参加ください。

1.主催 湯前町B&G海洋センター
湯前町教育委員会・湯前町中央公民館

2.後援 公益財団法人B&G財団・熊本大学
公立多良木病院健診センターコスモ

3.日時 平成27年 11月23日(月) 午前9時30分~

・午前9時30分~ 式典(30分)
・午前10時00分~ 講演(60分)
・午前11時00分~ 体験会(120分) ※申し込みはいりません

4.会場 湯前町B&G海洋センター

5.講演 演題「高齢まで健康に生きよう」
講師 熊本大学教育学部 中川 保敬 教授

6.体験会 「キッズコーディネーション」
講師:健診センターコスモ
キッズコーディネーショントレーナー 村山 直さん

「エクササイズ(軽運動)」
講師:健診センターコスモ
パーソナルトレーナー 平山 景子さん

「トランポリン体験会」
講師:公認トランポリン普及指導委員
多良木 弥生さん

「ウォーキング講座」
講師:熊本大学教育学部教授 中川 保敬さん
熊本大学生(4人を予定)

お問い合わせ B&G海洋センター ☎ 43-4555



パーソナルトレーナー
平山 景子さん

有酸素運動と筋力トレーニングで、パフォーマンスの向上と障害予防を目的とした教室です。自分のペースで運動できるので友人を誘って、ぜひご参加ください。

保健師だより



これは、平成26年度、公立病院で行われた青のライトアップです。国道側からきれいに見え、「ブルーライトアップ」と呼ばれています。

☆「ブルーライトアップ」とは？

世界糖尿病デーを周知するために、IDF（国際糖尿病連合）がシンボルカラーである青のライトアップを行っている活動です。人吉球磨でも、11月の1カ月間、各地で青いライトアップが行われる予定です。



湯前町は「HbA1c」が高めの人が多い？

特定健診受診者のうち、湯前町ではHbA1cが5.6以上の人の割合が県や全国よりも高いです。

HbA1c5.6以上の割合	男性	女性
湯前町(国保加入者)	58%	67%
県	57%	60%
国	50%	50%

糖尿病を予防するためには、HbA1cが「少し高め」のうちから運動したり、食生活を見直すことで改善していくことが大切です。

まずは「特定健診」を受けて自分の体を知ることが大切なのです!!

青いライトアップは どういう意味？



ヘモグロビンエーワンシーを知っておきましょう

特定健診を受診すると、「HbA1c」(ヘモグロビンエーワンシー)の検査が含まれています。このHbA1cは、日ごろの血糖値が高いかどうかのめやすになります。過去1~2カ月分を反映するといわれていますので、検査した日の血糖値だけでなく、普段はどうなのかが分かります。

HbA1cは、5.5以下が理想的と言われていて、自分の健診結果をぜひ一度確認してみてください!



特定健診を受けていると、病院代が安くなる!?

健診受診者の生活習慣病治療費	12,883円
健診未受診者の生活習慣病治療費	23,580円

この表は、特定健診を受けている人と受けていない人が生活習慣病の治療を受けたときにかかったお金を比べたものです。健診未受診の人は受診した人に比べ、約2倍の費用がかかっています!!



特定健診の受診は、体にもお財布にも優しい!

糖尿病などの生活習慣病の予防はもちろん、病院代も安く済ませられる特効薬は、特定健診の受診です。受診率が伸びている市町村が多い中、湯前町では、実はこの特定健診受診率が下がってきています…。体にもお財布にも優しい、特定健診の受診が「当たり前」になりつつある時代です。受けていない人は、次回からぜひ受診してくださいね!

(文責：今田亜紀)

編集後記

editorial note



[今月の表紙]

親子の絆が試される湯前小学校6年生の親子競技。二人三脚でスタートし、最後には児童が親をおんぶしてゴールしました。「重い〜!」と言いつつも最後までおんぶする児童の姿を見て、保護者たちは我が子の成長を感じていました。

▼大学生のとき友人に勧められたアニメがおもしろく、今まで見なかった漫画やアニメを見るようになりました。今回、漫画の特集を組みましたが、取材した皆さんだけでなく、私も楽しんで取材をさせてもらいました。漫画で特集が組めるのは湯前の広報担当者の特権ですね。漫画フェスタ当日、私もコスプレをして参加します。来場者の自然な表情を撮るために目立ちたくないような気もしますが、皆さんと一緒に祭りを盛り上げていきたいと思えます。

▼通学合宿には取材だけでなく、私もボランティアの一員として参加させてもらいました。子どもたちは駆け回ったり、元気に話したりとパワフル。丸1日の活動に体はクタクタでしたが、子どもたちと仲良くなることができました。「ボランティアは人のためではなく、自分のために行っている」。誰かが私に言った言葉ですが、子どもたちからパワーをもらった今だからこそ、その言葉の意味が分かったような気がしました。(宏)

—湯前町青年団だより—

(団長 瀧森 道太)

がまだすっ!

2015
VOL.4



9・10月のわだいを
紹介します

Topicks

9/5・6

第57回 熊本県総合青年祭文化の部

第51回 球青協文化祭

(あさぎり町須恵文化ホール)

■総合順位 4位

主な成績 郷土芸能1位 ※全国大会へ
舞踊:1位

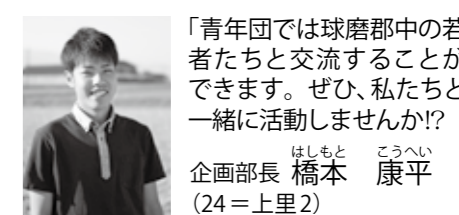
仕事が終わってから夜遅くまで練習をしました。郷土芸能1位の東方太鼓踊りを全国でしっかりと披露してきました!協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



9/26 大交流会



球磨郡中の団員が湯前に来てくれました!笑顔が途切れることなく、たくさんの団員と交流を深めました。



「青年団では球磨郡中の若者たちと交流することができます。ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか!?

企画部長 橋本 康平
(24=上里2)

9/27 観月祭バザー
10/12 通学合宿

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

青年団情報

11月3日 湯前町民文化祭(舞踊・合唱出演・バザー出店)

11月8日 ゆのまえ漫画フェスタ(バザー出店)

11月16日 **第64回全国青年大会** 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」
東方太鼓踊りで出場します!

香典返し
竹崎 静馬 (野中田1)
井手 秋子 (あさぎり町)
犬童 真二 (浅鹿野)
稲森 イツ子(下里)

ご冥福をお祈りします
一法師 トメ子(野中田3)
深水 政人 (浅鹿野)
稲森 茂 (下里)
深水 八重子 (野中田1)
椎葉 ヒトミ (野中田2)

たんじょう
おめでとつ(うぶごえ)
平川 愛莉奈 保護者名 裕貴 (中里2)

ご結婚おめでとう
的場 優真 (中猪)
首藤 優愛 (宮崎県)





絶対に忘れない、全員でつないだ思い。

駅伝の強豪、湯前中学校。全生徒数98人の学校の生徒たちはいくつもの感動を与えてきた。学年、性別、すべてを越えて「一致団結」。全員で頑張ってきたから、ここまでやってこられた。喜びも悔しさも、本気だからこそ味わった。湯前中でたすきをつないだ日々は一生忘れない。



※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ

広報ゆのまえ11月号

TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL <http://www.town.yunomae.lg.jp/>